

平成28年1月7日



かなぎわ

1月号 No.9

横浜市金沢区町屋町26-26 電話 781-2401

書き初め

学校長 高木 篤子



謹んで新春のお慶びを申し上げます

2016年 子どもたちの健やかな成長に
つながる 充実した年と なりますように



年のはじめの風習の一つに、「書き初め」があります。書き初めは、古来は宮中で行っていたのですが、江戸時代以降に庶民に広まったそうです。年が明けて初めて書を書く行事で、吉書・試筆・初硯・筆始ともいわれ、通常は1月2日に行われます。その年の目標や抱負などを書き記し、精進することが大事であるという考えもあるようです。

子どもの頃、「字を丁寧に」と親から言われていました。頭に浮かんだことを早く書きたい、読めればいいと思っていたのですが、文字を丁寧に書く意識が薄かったのは、文字の美しさを感じてなかったことも原因かも知れません。

「文字って美しいな」と私が感じたのは、大学生の頃だと記憶しています。それまでは、絵画は鑑賞しても、文字をしみじみと鑑賞していませんでした。文字全体の配列、穂先の動きや流れ、線の太さや濃淡、力強さや繊細さ。文字や言葉のイメージに合わせ、書いた人の思いが書の表情に出ています。

現在はパソコンの普及により自分の手で文字を書く機会が減り、まして毛筆は国語（書写）の時間だけという子どもも多いです。

小学校国語の書写では、硬筆を使用する書写は全学年、毛筆を使用する書写は3年生以上で行います。毛筆書写は硬筆書写の基礎を養い、文字を正しく整えて書くことをねらいとしています。書写指導のポイントは、次のとおりです。

【低学年】姿勢・筆記用具の持ち方・点画の長短や方向、接し方や交わり方

【中学年】文字の組み立て方・漢字や仮名の大きさや配列・筆圧

【高学年】用紙全体の配列・穂先の動きと点画のつながり

静かに筆を持つ時間はよいものです。姿勢を正し、心を落ち着かせて、じっくりと文字を書いてみましょう。

冬休み中に、ご家庭で書き初めの宿題にご協力いただき、ありがとうございました。年の始めに学校でも書き初めをして、校内に展示します。それぞれの思いを込めた文字をぜひご覧ください。